

## ミュージアムリソース研究所 1年目の活動実績報告書 (R4.5.1~R5.4.31)

R4に学長裁量経費として申請した「学内ミュージアムリソースの視覚化と情報発信の活性化に関する事業」(キャンパスミュージアム館長名で申請)が採択されたことによる予算を原資に、キャンパスミュージアム、理学部、農学部、大学文書資料室をミュージアム化のために整備し、また理学部B玄関前にあり地域創造教育センターが管理する掲示板を電子化する等を行い、同時に掲示コンテンツの刷新も行った。また浜松キャンパスにある高柳記念未来技術創造館と連携し、双方向でのビデオライブ中継を完成させた。

### 【キャンパスミュージアムのHPに見られる主な活動報告】

- ・<R4・5>ミュージアムリソース研究所のHPの立ち上げ。
- ・<R4・5>ふじのくに地球環境史ミュージアムで共同企画展「足もとの小さな世界」(5/21-8/28)を開催。
- ・<R4/8>県庁自然保護課との共催で、南アルプスの千枚岳と駒鳥池の調査を行う。
- ・<R4/11>グランシップで行われた旧制静岡高等学校創立100周年記念事業で、「死の灰」の展示を行う。
- ・<R4・12>企画展示「リンゴ展」を開催(12/5-12/23)。12/11の静岡新聞にも掲載。
- ・<R5・2>「高柳記念未来技術創造館=静岡大学キャンパスミュージアムライブ中継システム」開始。



共同企画「足もとの小さな世界」展のポスター  
(キャンパスミュージアムニュースレター No.23 より)



企画展「リンゴ展」のリンゴ(キャンパスミュージアムニュースレターNo.23より)



双方向ビデオを設置してくださった高柳記念未来技術創造館の青木館長と加瀬特任助教  
(キャンパスミュージアムHPより)



理学部B棟玄関前に新設された電子掲示板

# ミュージアムリソース研究所 1 年目活動報告書

期間：2022 年 5 月 1 日～2023 年 4 月 30 日

主に以下の活動を行った。

(詳細はキャンパスミュージアム HP<https://wwp.shizuoka.ac.jp/campusmuseum/>参照)

・キャンパスミュージアムが静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアムと共催で企画展「足もとの小さな世界ー土壌動物と間隙動物にみる驚異の多様性ー」を5月21日～8月23日の日程で開催した。

・本研究所の HP が開設された (5 月) (<https://project-kenkyu.shizuoka.ac.jp/introduction-pj-labo/y2022/4-028>).

・令和 4 年度地域連携応援プロジェクトに採択された (6 月). プロジェクト名: 南アルプスの生物 (いきもの) 探索プロジェクト 2～駒鳥池の微小生物の調査～.

・文部科学省大臣官房会計課ご一行のキャンパスミュージアム視察を受け入れた (6 月).

・磐田東中学校 3 年生 40 名のキャンパスミュージアム見学を受け入れた (7 月).

・ふじのくに地球環境史ミュージアムの地球環境史学で企画展関連事業として「砂の隙間にすむ生きものを見る～間隙性貝形虫類の多様性と生態～」の講演を行った (7 月).

・ふじのくに地球環境史ミュージアムの地球環境史学で企画展関連事業としてイベント「最強生物クマムシをさがせ！」を開催しました (7 月).

・キャンパスミュージアム公式 Twitter が開設された (8 月).

・理学部オープンキャンパス開催に協力してキャンパスミュージアムを開館した (8 月).

・「令和 4 年度 静岡大学地域連携応援プロジェクト 2～駒鳥池の微小生物の探索～」に関連して県庁自然保護課と共催で南アルプスの千枚岳, 駒鳥池の微小生物調査を行った (8 月).

・「静岡 STEM アカデミー2022STAGE1.5」でワークショップ「地上最強生物クマムシの観察・実験」を行った (8 月).

・学芸員資格のための博物館実習の実習生 3 名を受け入れた (9 月).

- ・ 菊川市立菊川西中学校の生徒 70 名の見学を受け入れた (9 月).
- ・ 大学博物館等協議会・日本博物科学会の HP の加盟館一覧に静岡大学キャンパスミュージアムが掲載された (10 月).
- ・ キャンパスミュージアム公開講座 2022 が 10 月 8 日, 10 月 15 日, 10 月 22 日, 10 月 29 日, 11 月 5 日の計 5 回の日程で開催された.
- ・ 内湾性貝形虫類 *Bicornucythere misumiensis* のタイプシリーズがキャンパスミュージアムに収蔵された (10 月).
- ・ 間隙性貝形虫類 *Anchistrocheles hayatotanakai* のタイプシリーズがキャンパスミュージアムに収蔵された (10 月).
- ・ キャンパスフェスタ 2022 でキャンパスミュージアムの公開を行い, 2 日間で 400 名以上の来館者があった (11 月).
- ・ 「体験!サイエンスラボ in 静岡」に協力し, 焼津中央高校の 1 年生 50 名がキャンパスミュージアムを見学した (11 月).
- ・ 静岡市グランシップで行われた「旧制静岡高等学校創立 100 周年記念事業」でキャンパスミュージアムが「死の灰」の展示を行った (11 月).
- ・ 農学部松本研究室との協力でミニ企画展「リンゴ展」がキャンパスミュージアムで開催された (12 月).
- ・ 「リンゴ展」の様子が静岡新聞に掲載された (12 月).
- ・ 和歌山大学の総務課長以下 5 名のキャンパスミュージアム見学を受け入れた.
- ・ ふじのくに地球環境史ミュージアム開催の「角の魅惑」展で, キャンパスミュージアムから貸与した日本最古級の鹿の角の化石が展示された (12 月).
- ・ 高柳記念未来技術創造館と国立科学博物館との共同企画「テレビジョン技術のはじめと発展」が開催された (1 月).
- ・ 浜松キャンパス高柳記念未来技術創造館と静岡キャンパスのキャンパスミュージアムのリアルタイム中継が開始された (1 月).

- ・成田学術情報部長と兼森研究協力課長がキャンパスミュージアムの見学に訪れた（2月）.
- ・雙葉学園高等部・中等部の生徒のキャンパスミュージアム見学を受け入れた（3月）.
- ・間隙性貝形虫類 *Semicytherura obitsuensis* のタイプシリーズがキャンパスミュージアムに収蔵された（4月）.
- ・春のフェスタでキャンパスミュージアムを開館し、多くの来訪者を得た（4月）.
- ・菊川市立岳洋中学校2年生の生徒80名の見学を受け入れた（4月）.